

山武杉で産直住宅

「木と土の家」が発足

販売店と大工が連携強化

千葉県山武杉を活用した地産地消型の環境共生住宅を建築・供給する有限責任事業組合（LLP）グループ「木と土の家」の会が山武地区の木材販売店・工務店など11社で結成され、その説明会が山武市長や地元森林組合など多数が出席するなか10月27日、開催された。山武杉を大胆に使用するほか、珪藻土等の自然素材を活用、また自然の換気を設計に織り込み、エアコンなしで生活できる環境・健康をコンセプトにした住宅・地域に根ざした住宅として新たな街並みづくりをも目指していく。

木造住宅は格安な土地取得をベースに急成長したパワービルダーや大手ハウスメーカーが主力を占め、地域産材、さらに広くいえば国産材をベースにした木造住宅づくりは、大工・工務店の元請け体制の弱まりから年々、減少しているのが実態。「木と土の家」は

同地区で自然素材を使用した家づくりを行ってある建築士とともに木材販売店が、千葉県のブランド素材である山武杉を使った環境貢献住宅を提案。これにより地域産材の新たな活用用途をつくり出す。

11社は木材販売店8社、工務店2社と設計士で、すでに建築実績のある、さんむフォレストの全面協力を得て立ち上げた。銘木・山武杉の地元業者として誇りを持ってやっていき、林業再生につなげたい」と述べた。

提供される住宅は街並みを意識したデザインで、徹底した健康・環境提案住宅。コスト面では共通構造モデルを採用。基本型を少なくすることによりコスト削減につなげるとともに、節あり材や溝腐れ材なども職人仕事を活用することで、もれなく使用していく。

具体的には天窓を開けるなど通気性の確保でエアコンのない自然の風で過ごせる家を提案。フローリングは杉厚板、珪藻土の採用、薪ストーブの採用、さらに古材、建具へのB材使用など「（山武杉を）灰になるまで使用」する方針。また11社が連帯して完成等の保証体制を確立し、環境・健康住宅を安心・安全な体制で供給して地域に貢献しながら、山武林業の再生、ひいては地球温暖化防止へとつなげていく。

なお、山武市ではこうした地域活動を支援するため、山武杉を網白里町▽石橋製材（山武郡九十九里町）▽石橋材木店（山武郡大網白里町）▽石橋製材（山武郡九十九里町）▽斉藤工務店（山武市）▽稗田総合建築設計事務所。次のとおり。

▽事務局 千葉県東金市東上宿13-1、(株)稗田総合建築設計事務所内（電話0475・52・7510、FAX0475・52・7511）

▽石井工業（山武市）▽丸西建材（同、副会長）▽阿部造船（山武郡九十九里町）▽鈴木製材所（東金市）▽野嶋木材（山武市）▽丸正木材工業（山武郡横芝町）▽唐笠工務店（山武市）▽石橋材木店（山武郡大網白里町）▽石橋製材（山武郡九十九里町）▽斉藤工務店（山武市）▽稗田総合建築設計事務所。